

道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業 完了報告書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住 所 〒

団 体 名
代 表 者 職 名
氏 名

職印

担当者所属職名
氏 名
電 話 番 号
F A X 番 号
E - M A I L

平成29年度「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」に関する完了報告書を次のとおり提出します。

1 本事業の趣旨・目標

2 本事業成果の検証方法（目標達成状況等把握のための方法）

3 本事業の実施内容

※ 該当の内容について端的に記載。必要があれば別途項目を立てても可。

(1) 地域の特色を生かした道德教育の取組

① 道德教育に係る外部講師派遣

<取組の概要>

<外部講師の内容>

(例) 医師や助産師など命の教育に関すること

<派遣先対象>

(例) 小学校〇〇校, 中学校〇〇校程度

② 家庭・地域との連携による道徳教育の取組
＜取組の概要＞

③ 「私たちの道徳」の活用促進のための取組
＜取組の概要＞

④ 教育委員会等による道徳教育用教材の作成・印刷・配布

<取組の概要>

<教材の概要>

- ・構成，読み物資料数

(例) 構成：小・中学校別

読み物資料数：小学校冊子 低学年 10編・中学年 10編・高学年 10編
中学校冊子 15編

- ・教材の内容，作成方針
- ・教材作成の方法
- ・教材の冊数
- ・教材の配布対象
- ・教材の所有形態（備付け又は個人持ち）
- ・教材の使用開始年度
- ・教材の活用

⑤ その他、地域の実態や課題に応じた特色ある道德教育の取組
＜取組の概要＞

(2) 「道徳教育パワーアップ研究協議会」の開催

<取組の概要>

・ 期日

・ 場所

・ 参加対象者, 人数 (約 名)

・ 日程・内容 (タイムスケジュール)

(3) 道德教育の抜本的改善・充実に係るシンポジウムの開催

<取組の概要>

・ 期日

・ 場所

・ 参加対象者, 人数 (約 名)

・ 日程・内容 (タイムスケジュール)

4 本事業の実施経過

月	実施内容	備考

※ 契約期間内の取組について記述すること。

5 取組の成果と課題

＜道徳教育の抜本的改善・充実に係る成果の概要＞

＜調査から見られる成果＞

(1) 地域の特色を生かした道徳教育の取組

※ 教材の作成又は購入，配布を行った団体は，(1)の下記欄について省略可。

ただし，翌年度末までに提出する成果報告書には，調査から見られる成果を記載する。

調査名		
調査項目		
回答項目		
調査対象	種別	1. 児童・生徒 2. 教職員 3. 保護者 4. その他 () ※該当を囲んでください。その他の場合は，()に記載。
	学年等	※全校又は抽出等についても併せて記載。
調査時期	第1回 (事業開始時)	第2回 (事業終了時)
回答結果 割合等		
結果の考察		

(2) 「道徳教育パワーアップ研究協議会」の開催 ※ 下記項目については，必ず記載。

調査項目	本協議会において周知がなされた改訂学習指導要領の趣旨等について理解できた			
回答項目	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない			
調査対象	1. 教育委員会関係者 2. 学校の管理職 3. 道徳教育推進教師 4. 道徳教育推進教師以外の教諭等 5. その他 () ※該当を囲んでください。その他の場合は，()に記載。			
調査期日	月 日			
回答結果 割合	回答1	%	回答2	%
	回答3	%	回答4	% (小数第一位まで)
結果の考察				

(3) 道徳教育の抜本的改善・充実に係るシンポジウムの開催

※ 下記の項目は例であり、シンポジウムの内容に応じて項目を設定すること。

調査項目	今後の道徳教育の在り方について議論を通じて深く考えることができた
回答項目	1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う 3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
調査対象	1. 教育委員会関係者 2. 教員 3. 保護者 4. 教育関係者（大学，企業等） 5. その他（ ） ※該当を囲んでください。その他の場合は，（ ）に記載。
調査期日	月 日
回答結果 割合	回答1 % 回答2 % 回答3 % 回答4 %（小数第一位まで）
結果の考察	

<その他の成果>

<今後の課題>

6 【様式4】「成果報告書」の提出の必要（有・無）

※ 委託要項8により、教材等の作成又は購入、配布を行った団体にあっては、翌年度末までに、

【様式4】「成果報告書」を提出。

※ 教材を作成した場合は、成果物として1部を提出。